

公開タグ	その他	その他	その他
タイトル	半田会長から、医療崩壊を阻止するために会員が守るべき行動についてのメッセージ	日本理学療法士学会「理学療法士のためのCOVID-19感染予防対策動画」	呼吸理学療法の適応禁忌(イタリアPT協会)の日本語訳
主に該当する病期	病期を問わず	病期を問わず	急性期
概要	半田会長からのメッセージとして、ご自身の経験に基づき、業務における具体的かつ豊富な対応が示されています。	日本理学療法士学会会員のボランティアが作成した動画集。理学療法全般にわたりそれぞれ2分～3分内で構成されており、理学療法に必要な感染の知識を確認することができる。急性期病院から在宅に至るまでのシチュエーションにおける、標準予防策、理学療法の評価・介入・呼吸理学療法・臨床業務以外の注意点、トリアージなど実施上の注意点が細かく動画で紹介されていて、世界的に見ても類を見ない充実した資料になっている。	イタリアPT協会のposition paperを日本呼吸理学療法学会が和訳したものです。COVID-19に対する感染防御や呼吸療法(人工呼吸療法、酸素療法、体位管理(腹臥位は16時間を推奨)を含む理学療法の適応と禁忌:飛沫の拡散を誘発するような呼吸理学療法手技などや、チームで行動するためのアドバイス、PPEの企画等についての情報が豊富に盛り込まれています。
最も注目するポイント＝理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> ① 手指衛生・着替え・感染源となる物品や私服の排除・靴下の履き替え・手指衛生後に私物を着用すること ② 使用機材の消毒をこまめに行うこと ③ 対象患者のトリアージについては上司及び医師と相談すること ④ 患者の時間/空間的ゾーン分けを行うこと ⑤ 患者との距離感:マスク装着の上、十分な距離をたもち身体接触も必要最小限にすること ⑥ 手指衛生 ⑦ 電子媒体等を積極的に活用すること ⑧ 業務終了後、丁寧な洗顔も行うこと 帰宅後の対応 <ul style="list-style-type: none"> ① 帰宅直後の手洗い及び手指消毒の実施 ② できるだけ早い時間帯で洗髪を行うこと ③ 同居者があれば脱衣後の衣服は峻別すること といった実践的な推奨事項が列挙されています。 	■ 理学療法における感染予防のポイント(12項目):標準予防策、濃厚接触、暴露リスク、環境面からの感染予防策、補装具・福祉用具の使用上の注意点、理学療法前の評価方法、理学療法実施上の腕手指衛生のタイミング、理学療法実施上の注意点(理学療法中の介助や立ち合い)、理学療法上の注意点(呼吸理学療法の実際)、N95マスク着用を要する場面での个人防护具PPE着脱の実際、臨床業務以外での注意点、緊急事態宣言下における外来理学療法患者の選定 ■ 地域・在宅での感染予防:在宅・訪問リハビリテーション編(6項目):訪問系リハ利用者(自宅)のトリアージ、利用者宅前での感染予防準備、自宅内の環境面からの感染予防策、訪問利用者(自宅)の感染予防、理学療法中の感染予防、訪問リハが終了した後の感染予防	
リソースのリンク	http://www.japanpt.or.jp/upload/japanpt/obj/files/info/covid19_jpta200415.pdf	https://tez123jp.wixsite.com/website	http://jspt.japanpt.or.jp/jsrpt/COVID-19-information/index.html
QRコード			
公開日	2020/4/15公開	2020/4/20公開	2020/4/20公開

その他	その他	その他
人工呼吸と理学療法の教材動画	新型コロナウイルス状況下の水分補給	新型コロナウイルス感染症対策としての栄養・身体活動（運動）について：一般向けリーフレット
急性期 日本集中治療医学会、日本呼吸療法医学会、日本救急医学会の3学会合同 日本COVID-19対策ECMOnetの有志により人工呼吸教育ビデオが作成・公開（リンクは呼吸療法医学会のHP）されました。	病期を問わず 日本栄養士会にの中村会長のメッセージ内に一般市民にむけて水分補給や食品購入や保存のアドバイスがQ&Aとして掲載されている	慢性期 国立健康・栄養研究所から健康管理のためのポイントとして栄養、運動の実施を促すためのリーフレットである
PTの基本的な介入についての紹介などもあります。感染防御しながらの腹臥位への体位変換などはコマ送り様の動画です。MP4ファイルをダウンロードして閲覧する形ですが、アクセスの集中が予想されます。	心疾患患者の水分補給は医師により指示されたとおりであるが一般的知識の基準として必要である	外出を控える中、このリーフレットを一目すると運動実施の刺激になると思われる
http://square.umin.ac.jp/jrcm/news/news20200415.html	https://www.dietitian.or.jp/important/2020/4.html	https://www.nibiohn.go.jp/eiken/corona/
 <p>http://square.umin.ac.jp/jrcm/news/news20200415.html</p>	 <p>https://www.dietitian.or.jp/important/2020/4.html</p>	 <p>https://www.nibiohn.go.jp/eiken/corona/</p>
	2020/4/10公開 2 / 969 ページ	2020/4/10公開

その他	その他	その他
高齢者介護施設における新型コロナウイルス感染症対策	医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド第2版改訂版 (Ver.2.1)	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 診療の手引き・第1版
慢性期	病期を問わず	病期を問わず
日本環境感染学会による高齢者介護施設の職員向けの対応ガイドです	一般社団法人日本環境感染学会作成のガイドライン。改訂版では医療従事者の暴露リスクに応じた就業制限 (表1 医療従事者 (注1) 暴露のリスク評価と対応P.12) に関して、より理解しやすい形の内容になっている。	(一社) 日本医療法人協会からリリースされた診断から院内感染防止、退院時の生活指導まで網羅的に記載されたガイドライン。
Q&A方式で対策が具体的に示されており、Eメールでの個別の相談窓口も提示している。動画も作成されており、多職種での情報共有に有用と思われる。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染リスク対策と就業規則・医療従事者の暴露のリスク評価と対応 ・个人防护具の種類と着脱手順例 について詳細に記載されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育：正しい知識と実践
http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content_id=328	http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/COVID-19_taioguide2.1.pdf	https://ajhc.or.jp/siryo/20200317-covid19.pdf
 <p>http://www.kankyokansen.org/modules/news/index.php?content_id=328</p>	 <p>http://www.kankyokansen.org/uploads/uploads/files/jsipc/COVID-19_taioguide2.1.pdf</p>	 <p>https://ajhc.or.jp/siryo/20200317-covid19.pdf</p>
2020/04/03公開	2020/3/10公開	2020/3/17公開

その他	その他	その他
<p>新型コロナウイルスでの感染が疑われる人がいる場合の家庭内での注意事項</p>	<p>新型コロナウイルス感染症への対応について（高齢者のみなさまへ）</p>	<p>高齢者介護施設における感染対策マニュアル改訂版（2019年3月）</p>
<p>病期を問わず 家族に感染が疑われる人がいる場合の注意点が示されている。とくに鼻をかんだティッシュの取り扱いが家庭内では見落とされがちであるため重要な一文である</p>	<p>慢性期 厚生労働省による、高齢者やその家族に向けたわかりやすい情報提供。以下の内容が記載されている。1) 新型コロナウイルス感染症について、2) うつらないために、うつさないために、3) 日々の健康を維持するために、4) 体調不良のときは、5) 関連情報</p>	<p>慢性期 厚生労働省ホームページ。平成30年度老人保健健康増進等事業として実施された「高齢者施設における感染症対策に関する調査研究事業」においてまとめられたマニュアル。</p>
<p>理学療法中に外来患者や家族と感染予防について話す際の会話の要点として重要である</p>	<p>・運動指導：3) 日々の健康を維持するために：運動をしようの中で<自宅のできる体操動画>として以下のリンクが張られている。○高知県高知市：いきいき百歳体操（簡易版）、○茨城県（茨城県立健康プラザ）シルバー体動チャンネル、○東京都理学療法士協会：理学療法士による自宅のできる効果的な運動ガイド</p>	<p>・感染予防対策：高齢者介護施設における感染予防対策に関する指針</p>
<p>https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage_00009.html</p>	<p>https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/yobou/index_00013.html</p>	<p>https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/ninchi/index_00003.html</p>
		
<p>2020/3/1公開</p>	<p>2020/4/17更新</p>	<p>2020/4/19閲覧</p>

その他	その他	その他
<p>コロナウイルス感染患者に対する人工呼吸器取り扱いについて</p>	<p>コロナウイルスやその他の感染症アウトブレイク中における 医療従事</p>	<p>新型コロナウイルス感染症に対する臨床対応の考え方ー医療現場の混</p>
<p>急性期 ・日本呼吸療法医学会、日本臨床工学技学会らのコロナウイルス感染者に対する人工呼吸器取り扱いの勧告。・人工鼻はバクテリアフィルタ付きかつ適切な交換を。・人工鼻と加湿加温器は併用しない。・痰吸引は閉鎖式チューブを使用。・非侵襲的陽圧換気(NPPV)、流量酸素療法(NFNC)は原則使用しない。</p>	<p>病期を問わず 日本災害医学会から米国トラウマティック・ストレス研究センターが作成した「COVID-19関連のメンタルヘルス・マニュアル」専門家向け日本語版全6編。医療提供者が隔離期間中に患者と自身の心の健康をどのようにケアできるかを隔離中と隔離後に分けて明確な項目と戦略を示している。隔離中の患者と向きあう医療従事者の健康を維持するための具体的内容と方法が示されている。</p>	<p>病期を問わず 一般社団法人日本感染症学会。新型コロナウイルスに対する診療体制の変化の方向性を示す方針。内容：1. 新型コロナウイルス感染症に対する検査、2. 軽症例を受け入れる施設の認定および自宅安静の判断、3. 重症例を見逃さない、救命のための対応、4. 治療法の選択5. 退院基準と退院後のフォローアップ、6. 海外からの帰国者への対応、7. 感染症および医療従事者に対する精神的ケアの必要性。</p>
<p>・重要な点は、人工鼻・加湿の必要性や排痰時の対応、人工呼吸器の選択の判断として留意すべき事項である。・コロナウイルス感染症患者の呼吸管理・リハ介入時に必要な情報である。</p>	<p>・生物としての基本ニーズ（食事、睡眠）や休憩の質を高める方法、同僚と話すことの意義、刺激的な映像や心配な情報をもたらすストレスが示されている。COVID-19やその他の感染症のアウトブレイク中における、その治療に従事している医療従事者に向けた健康維持に関するガイドライン。健康維持のための戦略について説明あり。 ・感染リスク対策とリスクコミュニケーションについての情報であり、漠然と理解しているストレスコントロールについて日常生活で気を付けるべきことが明瞭に示されている。具体的な項目と対応が2ページに明瞭にまとめられており、短時間により多くのスタッフと意識共有をすることを可能にする資料である。とくに新卒のPTに勧めたい。</p>	<p>・診療体制を把握し方向性の変化を理解できる、・重症化察知の指標：肺炎画像の広がり、低酸素血症の存在、血液検査異常（リンパ球減少、血小板減少、CRP高値など）</p>
<p>https://www.jsicm.org/news/upload/COVID-19-ventilator-V2.2.pdf</p>	<p>https://www.cstsonline.org/assets/media/documents/CSTS_FS_JPN-Sustaining_WellBeing_Healthcare_Personnel_During_Corona</p>	<p>http://www.kansensho.or.jp/uploads/files/topics/2019ncov/covid19_rinsho_200402.pdf</p>
		
<p>2020/4/19公開</p>	<p>2020/4/20公開</p>	<p>2020/4/2公開</p>

<p>その他</p>	<p>その他</p>
<p>(一社)日本リハビリテーション工学協会 COVID-19の予防(日本語版)</p>	<p>血圧測定において血圧計カフはアルコール清拭が推奨される。</p>
<p>病期を問わず</p>	<p>病期を問わず</p>
<p>車椅子・支援機器ユーザーに向けたCOVID-19の予防対策のガイドラインであるが、心血管理学療法に従事する理学療法士においても、リハビリテーション室や病棟にある車椅子の保守管理に、大いに役立つ内容である。</p>	<p>・日本高血圧学会による血圧測定に関する勧告。・血圧測定は直接粘膜と接触しないため、通常低水準消毒やアルコール清拭が行われる。・COVID-19の感染予防にはアルコール清拭が推奨されるが、機器によりアルコール清拭が不可能な場合があり、その場合は測定機器の取り扱い説明書に準じること。</p>
<p>・感染予防対策</p>	<p>・注目すべき点は、原則血圧測定前後でアルコール清拭を行うべきである。・理学療法士は血圧測定時にアルコール清拭を行うべきである。</p>
<p>https://www.resja.or.jp/data/precautions.pdf</p>	<p>https://www.jpnsnsh.jp/com_ac_wg1.html</p>
 <p>QRコード: https://www.resja.or.jp/data/precaution.pdf</p>	 <p>QRコード: https://www.jpnsnsh.jp/com_ac_wg1.html</p>
<p>2020/4/8公開</p>	<p>2020/4/15公開 6 / 969 ページ</p>

